

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和3年度 第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会
開催日時	令和3年8月30日(月) 午後2時00分から午後3時40分まで
開催場所	加東市役所 3階 302会議室
議長の氏名(会長 梅野巨利)	
出席及び欠席委員の氏名	
<出席委員 ※欠席なし>	
<ul style="list-style-type: none"> ・梅野 巨利 ・小倉 康 ・神田 耕司 ・小林 邦子 ・藤木 厚巳 ・吉田 伊佐見 ・臼井 すす子 ・丸山 美智子 ・村上 加奈子 ・服部 紹吾 	
出席した事務局職員の氏名及びその職	
<ul style="list-style-type: none"> ・市長 安田 正義 ・技監 高瀬 徹 ・上下水道部長 眞海 秀成 ・上下水道部管理課長 阿江 英俊 ・上下水道部工務課長 谷垣 直哉 ・上下水道部管理課副課長 北島 恭子 ・上下水道部工務課副課長 西角 昌記 ・上下水道部工務課係長 荻野 克弥 ・上下水道部管理課主査 神戸 幸子 	
傍聴者 なし	
<p>1 報告・協議事項 加東市水道事業の取組評価</p> <p>2 会議資料 【資料1】加東市水道事業及び下水道事業運営審議会条例 【資料2】加東市水道ビジョン評価総括表(令和元年度～令和2年度) (案) 【別紙】意見書</p> <p>3 会議の経過 ⇒別紙「令和3年度第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過」のとおり</p>	
令和 年 月 日	<p>会長 梅野 巨利</p> <hr/> <p>会長職務代理者 神田 耕司</p> <hr/>

(別紙) 令和3年度 第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過

発 言 者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会 事務局より定足数の確認を行い、本運営審議会が成立することを報告した。</p> <p>2 市長挨拶 市長より開会の挨拶。</p> <p>3 委員紹介 各委員の紹介。</p> <p>4 会長の選出・職務代理の指名 加東市水道事業及び下水道事業運営審議会条例に基づき、会長の選出と職務代理の指名を行った。</p> <p>5 会長挨拶 会長より選任の挨拶。</p> <p>6 報告・協議事項 事務局より加東市水道ビジョン評価総括表（令和元年度～令和2年度）（案）の構成及び（1）安全・安心でおいしい水の供給の内容を説明し、その後に質疑応答を行ったが質疑は無かった。 次に（2）強靱な水道の構築の内容を説明し、その後に質疑応答を行った。</p>
委員	<p>“（2）強靱 ③災害・事故対策の体制整備 3）水道危機管理マニュアルの見直しと水道業務継続計画（水道BCP）”の策定について、“水道BCP”とは何か。</p>
事務局	<p>“水道業務継続計画”と言い、例えば地震・災害が起きた場合に、何日間を目途に水道の給水を復旧させるのかを記載した計画書である。</p>
委員	<p>総括表における“現状に対する評価基準の A, B, C”と“今後の方向性に対する 1, 2, 3, 4, 5”の評価基準の文章が分かりにくい。例えば、“（2）強靱 ③災害・事故対策の体制整備（予防及び応急復旧対策）2）緊急時を想定した応急復旧の運用体制の確立”に関しては“評価 B 概ね順調”となっており、概ね順調の場合は、評価基準では“計画期間終了までに目標を達成できる見込みである”となっている。現状分析と課題では“再検証が必要”となっているが、文章的にいつまでに等、今からされるのであればこれからの目標等の文言が必要ではないか。</p>
事務局	<p>評価を B にした理由ということでよいか。</p>
委員	<p>評価 B の説明と現状分析と課題の部分が合致しているのか。また（1）安全・安心でおいしい水の供給では質問していないが、“（2）強靱 ①水運用体制の整備 5）緊急時の代替配水を確保する連絡配水管の整備”に関しても、現状分析と課題として“赤水の発生に繋がる恐れがある”とあるが“評価 B 概ね順調”となっており、恐れがあるのみで具体的対策が記載されていない。このような内容で“評価 B 概ね順調”と“評価 3 改善”となっており、評価的に問題はないのか。決められた評価基準がよく分からない。</p>

事務局	3 ページの“(2) 強靱 ③災害・事故対策の体制整備 (予防及び応急復旧対策) 2) 緊急時を想定した応急復旧の運用体制の確立”について、再検証をいつまでにするのかですが。
委員	いつまでにするとかではなく、目標設定等は文書的に記載しなくてもいいのか。
事務局	取組内容を列の一番左側の主な取組欄の 2) の下のとおり、災害非常時に備えたシステムの分散化を推進とあり、リスクマネジメントとしては分散化を推進していかなければならないということをビジョンに書いている。こちらの取組として、この行の一番右側の表に、前期 (令和元年度～令和3年度)、中期 (令和4年度～令和7年度)、後期 (令和8年度～令和10年度) と矢印を示している。
委員	中期のとおり7年後あたりまでを目標にするということか。
事務局	そのとおり。3年間 (前期)、4年間 (中期)、3年間 (後期) となる。
委員	7年後までにはするということであればよく理解できた。
事務局	課題が計画時点よりも、現在において顕在化しており、分散手法等を工夫しなければいけない状況にあるので、改善を図らなければならないという意味で“評価3改善”としている。
委員	“(2) 強靱 ①水運用体制の整備 3) 自己水源の取水割合の見直し”の自己水源と県営水道の割合の目標は、取水割合を50%前後にしたいと書かれているが、令和元年度と令和2年度は自己水源44.8%と45.2%である。50%に近づけるとするのは49%か51%あたりかと思うが、現在44%で50%前後になるのか。これも7年後にそうしたいというのであればいいが、今回令和元年、令和2年の評価をしていて、50%前後に近づいていないのに“A評価”になるのか。
委員	事務局に代わり言いますが、それは計画表に記載してあり、自己水源42%と県営水道58%から改善しているから“A評価”となっているのではないのでしょうか。
委員	“(2) 強靱 ③災害・事故対策の体制整備 3) 水道危機管理マニュアルの見直しと水道業務継続計画 (水道BCP) の策定”について、年々精度があがっていくのは有難いが、上下水道共に今もできているのか。災害はいつ起こるかわからない。
事務局	加東市の地域防災計画で体制を決めている。下水道の業務継続計画は策定できているが、上水道は策定中である。現状は、上下水道部で動いているため、上水道と下水道で分けるのではなく、上下水道部として考えなければならないことが課題である。
委員	3 ページ目の一番上にある“基幹管路耐震化率”の計画だが、最終年の令和10年度には基幹管路耐震化率60.9%にするということだが、現在は約26%で令和元年度、令和2年度はあまり変わっていない。あと残り7年で60.9%にするのであれば毎年5%ずつ上げていかなければならない計算になるが、そんなに急に上がるものなのか。

事務局	<p>加東市基幹管路耐震化計画を策定しており、年度ごとの目標数値を実現させる管理をしている。令和3年度は35.1%の目標に向け予算を編成し、目標数値を達成する見込みである。令和10年度の今後の方向性に記載の目標数値は達成できるものと考えている。</p> <p>次に事務局より(3)持続性の確保の内容を説明し、その後に質疑応答を行った。</p>
委員	<p>質問ではないが、表記の仕方に関して、西暦と元号が混じっている。例えば(3)持続①老朽施設・管路への対応1)アセットマネジメント手法による施設・管路の更新”のところで主な取組欄では2022年度と書いてあるが、今後の方向性欄では令和4年度と書いてあるので、どちらかに統一したほうが分かりやすい。“(2)強靱②耐震化の推進1)施設及び基幹管路の耐震化の推進”の欄も西暦と元号が混じっているのを統一して欲しい。</p>
事務局	<p>統一するようにする。ビジョンの時のように元号と西暦をカッコ書きで併せ持つほうがよいか。</p>
委員	<p>私は西暦で統一されたほうが分かりやすいが、行政文書のルールもあるため、事務局に任せる。</p> <p>7 その他</p> <p>(1)意見書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より意見書の提出期限は、令和3年9月13日(月)までと説明。 <p>(2)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より次回の審議会は、令和3年11月22日(月)午後2時から加東市役所3階の301会議室で開催予定と説明。 <p>8 閉会</p> <p>神田会長職務代理者より閉会の挨拶。</p>